

音楽Ⅰ 弦楽四重奏 鑑賞ワークシート①

10月～12月にかけて行った弦楽器の授業のまとめとして、本日は弦楽四重奏の生演奏による鑑賞の授業を行います。このシートは、鑑賞しているときや曲間などで、自分が気づいたことや重要だと感じたことを書き留めておくメモ用紙として活用してください。授業の後半でワークシート②を記入する際に必要となります。

鑑賞するときに大切にしてほしいことは、以下の2点です。

★自分が弦楽器を演奏した経験をもとにしながら鑑賞する。

★目の前で繰り上げられる生演奏だからこそ聴きとれる音の変化に注意して鑑賞する。

生演奏だからこそ味わえる弦楽器の魅力を、自分なりの視点で考えながら鑑賞しましょう。

このシートは、提出の必要はありません。

実技ワークシートのプレストの内容や、自分で書いた振り返りの内容も参考にしよう！

～ 曲目&メモ欄 ～

① ヴィヴァルディ 四季より「春」第1楽章

② ハイドン 弦楽四重奏曲「ひばり」第1楽章

③ ドヴォルザーク 弦楽四重奏曲「アメリカ」第1楽章、第4楽章

④ アンダーソン 「プリंक・プランク・プルंक」

⑤ プロコフィエフ バレエ「ロメオとジュリエット」より モンタギュー家とキャピュレット家

音楽Ⅰ 弦楽四重奏 鑑賞ワークシート②

■楽曲や場面に応じた「音色」を出したり「表現」をするために、演奏者はどのような「工夫」をしているか。

これまでの弦楽器の経験を生かして気づいたことをすべて書き出してみよう。

(※ワークシート①を活用しながらまとめましょう。箇条書きでも構いません。)

■弦楽四重奏の生演奏に直に触れることの魅力とは、どんなところだと思いますか。

1年 組 番 氏名: